

8. 年間最高気温の時にソーラーパネルによる気温上昇の程度を表す等気温線如き図面を提出のこと  
書 ・造成面を幅おおよそ30～400mの森林で囲い、かつ、造成面には三種混合による草丈20cm程度となる種子吹付を全面に行い、造成面が裸地とならないようにし、温度上昇を抑える措置をとります。また、パネル表面温度の上昇につきましても、これにより周囲の温度が上昇することがないことにつき検証済みです。

9. 検証のため合理的な頻度及び点数で気温の定期的測定要

検 ・必要であると認められた場合は、合理的な頻度及び点数で気温の定期的測定を実施致します。

10. ソーラーパネルで反射する太陽光が届く範囲を示す図面を提出のこと 特に名鉄赤沢別荘地の家屋がその範囲にないことを確認のこと

書 ・今後図面を作成し提出致します。

11. 広大な樹林を伐採することにより、風速 and/or 風向がどの程度変わるかの説明

書 ・造成面の外周部を30～400mの森林で覆っておりますので、何もない平坦な場所と比べ風速風向が著しく変化することはありませんので、伐採による影響はありません。

12. 検証のための定期的な風速 and/or 風向測定

検 ・必要であると認められた場合は、定期的な風速及び風向の測定を実施致します。

## E. 環境

1. 会社倒産時の未払金（税金、給与、借入金）の返済はソーラーパネルの撤去費より優先度が高いと思われるが、その対策はどのように考えているのか

即 ・ソーラーパネルの撤去費を優先致します。将来的な費用の確保については、経済産業省資源エネルギー庁の太陽光発電ガイドラインに従い、事業費に撤去処分費用を織り込んで算出しており、事業開始時からその費用はストックされている状態です。

2. 雇用に貢献とあるが、その職種と人数は？

即 ・今回の事業規模で概算した場合、造成土木工事、電気設備工事等合計200人程度の雇用が発生すると考えており、地元業者に優先的に発注します。また、事業運営中に実施する年3回の草刈作業や発電所管理の雇用も考えております。

3. 住民に必要な情報の開示方法について、閲覧を準備しているとあるが、どこで閲覧できるのか  
なぜ便利なウェブ上のアップを拒むのか

即 ・今回ご提示する「平成 28 年度 伊豆高原（伊東市）八幡野地区メガソーラー自然環境保全協定  
に係る希少野生生物調査」報告書のような、調査等が終了しているものにつきましては、ご指示  
いただければご用意致します。現在の状況としましては、説明会開催中及び許可申請等審査中  
あり、説明会や審査による計画の変更があり、混乱を招く恐れがございますので、ウェブ上に審  
査中の情報をアップすることは考えておりません。

4. 風評被害による名鉄赤沢地区の固定資産価値の低下の推移

書 ・風評被害や資産価値等につきましては、低下しないと考えております。

5. 推定困難な場合には、基準とすべき合理的な不動産の設定と追跡調査を実施すること

検 ・必要であると認められた場合は、基準とすべき合理的な不動産の設定と追跡調査を実施致しま  
す。

以上